



2023年 3学期がスタートしました

南佐久の厳しい寒さの中、1月10日、南牧中学校の3学期が始まりました。始業式では3名の生徒が力強く抱負を述べてくれました。以下に内容を抜粋して紹介します。



■■■■■さん

(1年生)

学習面と生活面で努力したいこと。学習は見直しとまとめを努力したい。見直しをしたときに、なぜその答えになるのかを理解したい。生活はあいさつと時間を見て行動すること。あいさつは、はっきり

りと相手に届く声でしたい。また、時間を見て行動することは、普段から心掛けてきていることだけれど、行動にさらに余裕をもてるようにしたい。こうした3学期の努力を2年生につなげていきたい。

■■■■■さん (2年生)

抱負を3つ。1つ目は勉強。これからの進路のことも考えるようになってきた。自分に選択肢を広げられるようにしたい。部活動はスケートを頑張っている。2月の全中に向けてメンタル面も技術面も向上できるように、練習を頑張りたい。壮行会で校長先生からお話をいただいたように、周りの人に対する感謝の気持ちを忘れないこと。競技に臨めることを当たり前と思わず、感謝の気持ちを持ち続けたい。3つ目は生徒会。2年生がやる番になった。3学期のうちに、聞いておきたいことはしっかりと3年生に聞いて、4月には先輩としてあるべき姿を示したい。

■■■■■さん (3年生)

3学期は、3Aの仲間と過ごせる最後の学期になる。目標達成に向けてどんな努力ができるだろうか。具体的には、志望校合格に向けて1日4時間の勉強を頑張りたい。毎日のスケジュールを可視化して、やることをはっきりさせる。続けていくために工夫を重ねたい。1日1日が最後となる仲間と、残りの中学校生活を充実させたい。学校に関わる人、先生、友達、全ての人に、感謝の気持ちを忘れずに3学期を過ごしたい。

■校長先生からは、西郷隆盛の漢詩文の一節(右の写真)を引いて、以下のようなお話をいただきました。

苦しさに堪えしのぶ、努力することが、美しい花を咲かせることにつながる。
誰にでも苦しい時がある。それをきっかけに人はよりよい自分につなげていく。
大人になるための準備期間…それこそが中学時代です。

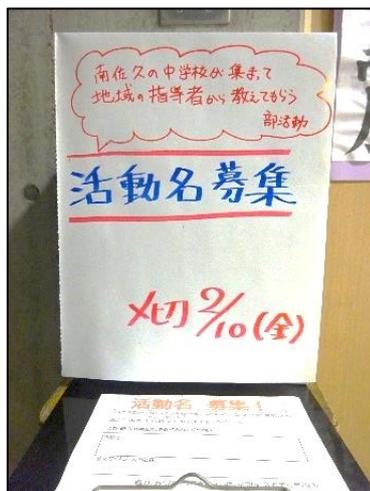
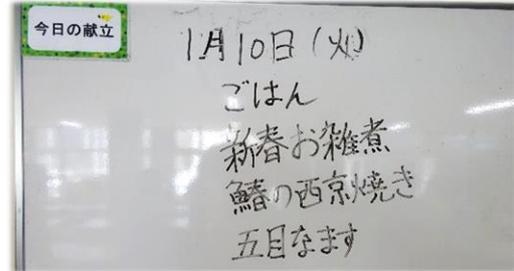
1学期はホップ 2学期はステップ 3学期はジャンプ 自分らしく大きな花を咲かせましょう!



1月の南牧中学校あれこれ



■始業式の給食は新年の晴れやかな雰囲気が味わえる嬉しいメニューでした。調理場のみなさん3学期も宜しくお願いします。



南佐久の地域になじむ、呼びやすい名前を！
校長室前に応募箱がありますよ。

校長先生から、始業式のお話で次のような課題をいただきました。
部活動地域移行の【活動名】を中学生のアイディアで付けて下さい！
というものです。南佐久の地域が連携して地域の指導者に教えてもら
う部活動は、今までの【部活】とも【社会体育】とも違う扱いの活動
になることを考えると、呼び名も別にあるといいですよ。



部活動の大活躍！



1月5・6日に長野市エムウェーブで行われたスケート競技の県大会では、南牧中学校が男女共に総合優勝を飾り、2月4日からの全国大会に臨みます。おめでとうございます！
競技中は互いに譲らぬ厳しい滑りが続きますが、練習中は下の写真のように、南佐久の仲間が息を揃えたウォーミングアップをします。とても美しい滑りです。
また吹奏楽部の皆さんはアサガハコンテストに出場し、見事銀賞を受賞しました。校内が嬉しいニュースであふれています。

書き初め・保健室

新年の校内掲示に、学ぶことがたくさん



学校自己評価アンケートに見る南牧中学校の姿

2学期末に行った学校自己評価にご協力いただき有難うございました。集計をさせていただいた結果をもとに考察を加え、今年度の締めくくりに、また新年度からの学校づくりに生かしていきたいと思えます。以下、結果と考察内容をお伝えします。

■ 学校評価アンケート（保護者）

1. お子様の学年を入力してください。

・ 1 学年保護者（家庭数 22 名）回答 22 名	● 1 学年	22 名
・ 2 学年保護者（家庭数 31 名）回答 23 名	● 2 学年	23 名
・ 3 学年保護者（家庭数 22 名）回答 15 名	● 3 学年	15 名



2. 学校はお子様があん心して、楽しく生活できる場所になっている。

● A そう思う	35%
● B だいたいそう思う	50%
● C あまりそう思わない	15%
● D そう思わない	3%

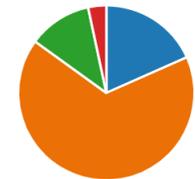


《考察》

・A および B の意見が 85%。過年度との比較では若干減少している。「あまりそう思わない」と回答をいただいた保護者の思いに寄り添い受けとめていく姿勢、そして子どもの思いを受けとめ支えていく姿勢を、学校として大事にしていきたいと考えています。

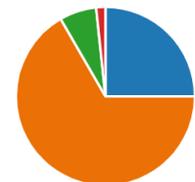
3. 子どもたちは、学校や地域で気持ちのよい挨拶ができる。

● A そう思う	11%
● B だいたいそう思う	67%
● C あまりそう思わない	12%
● D そう思わない	3%



4. 子どもたちに、学校生活や地域での生活で、相手の気持ちを考えて行動するなど「思いやる姿」が見られている。

● A そう思う	25%
● B だいたいそう思う	67%
● C あまりそう思わない	7%
● D そう思わない	2%

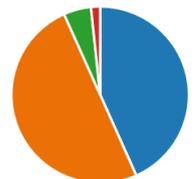


《考察》

・過年度との比較でも、A および B の意見が高い比率を示しています。他ならぬ本校生徒の「よさ」であると考えます。

5. 子どもたちは、南牧祭や生徒会活動など、自分のよいと思ったことを進め、自主的な活動に取り組んでいる。

● A そう思う	43%
● B だいたいそう思う	50%
● C あまりそう思わない	5%
● D そう思わない	2%



《考察》

・過年度との比較でも、A および B の意見が高い比率を示しています。南牧祭を始めとした生徒会活動の充実は、子どもたちにとって魅力的な活動であることが窺えます。こうした「よさ」をもっと伸ばしていきたいと考えます。

6. 子どもたちは、部活動に熱心に粘り強く取り組んでいる。



12月20日 部活動運営委員会の様子

● A そう思う	40%
● B だいたいそう思う	47%
● C あまりそう思わない	12%
● D そう思わない	0%

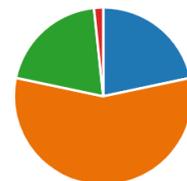


《考察》

・過年度との比較でも、A および B の意見が高い比率を示しています。これからの休日における部活動地域移行において、より広い地域・人との関わりの中で子どもたちを育む環境づくりを共に考えていきましょう。

7. 学校では、総合的な学習（村内巡り、SDGs 等の探究的な学習）などを通して、地域と連携した学習が行われている。

● A そう思う	22%
● B だいたいそう思う	57%
● C あまりそう思わない	20%
● D そう思わない	3%



8. お子様は、ボランティアなど地域の行事にすすんで参加している。

● A そう思う	2%
● B だいたいそう思う	35%
● C あまりそう思わない	47%
● D そう思わない	17%



《考察》

・8の A および B の意見 37%。「ボランティアなど地域の行事」が本校生徒の学習活動としてどのように位置付けられているものなのか、その理解が共有されていないことが一因と考えられます。支部生徒会活動の在り方と併せて、来年度への課題としたいと思います。

・一方で、先月本校で行われました「部活動運営委員会」では、吉沢公民館長様より、「村の競歩大会に、大人数というわけではなかったが中学生が元気よく参加し、賑わいが生まれた。」という賛辞をいただきましたことを付記させていただきます。

9. 子どもたちにとって、授業は分かりやすく楽しいものとなっている。

● A そう思う	12%
● B だいたいそう思う	62%
● C あまりそう思わない	20%
● D そう思わない	7%



《考察》

・A および B の意見 74%。今後も、教師の授業力向上を目指し、研修を積み重ねていきたいと思えます。そうした授業改善の取組の一環として、全教科の授業アンケートを2学期末に実施し、教科担任が生徒の声を直に聞いて、自らの授業の振り返りを行いました。今後ともご意見を願います。

10. 授業の発言などをみると、子どもたちは自分の考えたことについて意見交換し合い「自分の考えや願いを伝え合う力」を伸ばしている。

● A そう思う	12%
● B だいたいそう思う	60%
● C あまりそう思わない	18%
● D そう思わない	5%



《考察》

・A および B の意見 72%。本校の全校研究テーマは「様々な対象と自主的に関わりながら、自ら考え、判断し、行動する力」です。保護者の皆様には、授業参観日をはじめ、ご来校いただける折には、参観の際の一観点としていただけると有難いです。

11. お子様は、家庭で継続的に学習に取り組んだり、計画的にテスト勉強に取り組んだりしている。

● A そう思う	20%
● B だいたいそう思う	28%
● C あまりそう思わない	28%
● D そう思わない	23%

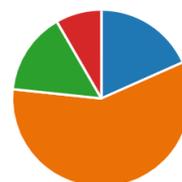


《考察》

・A および B の意見 48%。本年度は経年の傾向より低下しています。教科の進度、内容に合わせて、補充・定着・活用・探究といった様々な視点から課題を自分で見出し、計画を立てながら、自立した学習者として育っていくという家庭学習のねらいを学校と家庭とで共有を図っていきながら、生徒を支援していきます。

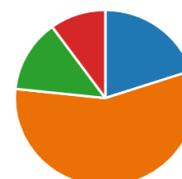
12. 教師は、授業や授業以外の時間に子どもたちが学習を理解するまで丁寧に教えたり、説明したりしている。

● A そう思う	18%
● B だいたいそう思う	58%
● C あまりそう思わない	15%
● D そう思わない	8%



13. 教師は、授業で子どもたちの意見を良く聞いたり、子どもたちを認めたりすることを大切にしている。

● A そう思う	20%
● B だいたいそう思う	57%
● C あまりそう思わない	13%
● D そう思わない	1%

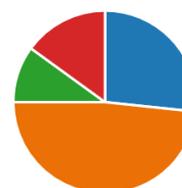


《考察》

・12,13 の項について、「授業の主役が常に生徒であること」を授業改善の視点に置きながら、その子が発する思いを受けとめることを授業づくりの根幹として今後も大切にしていきます。

14. 教師は、子どもたちが安心して学校生活が送れるように、親身になって悩みを聞いたり相談にのったりして生活指導や生徒指導を適切に行っている。

● A そう思う	27%
● B だいたいそう思う	48%
● C あまりそう思わない	10%
● D そう思わない	15%



15. 学校から保護者に向けて出されている通信や文書、連絡などは、わかりやすく適切である。

● A そう思う	28%
● B だいたいそう思う	60%
● C あまりそう思わない	5%
● D そう思わない	7%



16. 通知表の内容や記述は、分かりやすく、納得できる。

● A そう思う	30%
● B だいたいそう思う	60%
● C あまりそう思わない	10%
● D そう思わない	10%

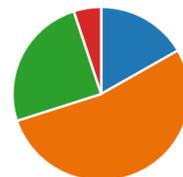


《考察》

・通知表の記述内容はその具体性を重視し、限られた枠内ではありますが、生徒の学習場面の様子が分かりやすくお伝えできるよう、職員相互の読み返し、表記のチェックを行っています。お気づきの点につきましては、家庭からの通信欄をお使いいただきまして、教えていただければ有難いです。

17. 学校は保護者が気軽に訪れ、保護者と協力して教育を進める雰囲気となっている。

● A そう思う	17%
● B だいたいそう思う	53%
● C あまりそう思わない	25%
● D そう思わない	5%



《考察》

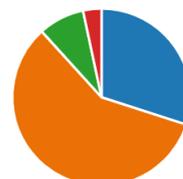
・本校ではいつでも保護者の皆様のご相談に対応してまいります。また、学級・学年職員のみならず、養護教諭、心の相談員、スクールカウンセラー等、相談のご希望に合わせて職員が対応します。また本校は、保健室が「いじめ・ハラスメント相談窓口」となっています。

保健室入り口の掲示



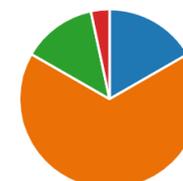
18. 学校の環境は、整備され気持ちよく保たれている。

● A そう思う	30%
● B だいたいそう思う	58%
● C あまりそう思わない	9%
● D そう思わない	3%



19. PTA による活動（広報活動、PTA 作業など）が充実している。

● A そう思う	17%
● B だいたいそう思う	67%
● C あまりそう思わない	13%
● D そう思わない	3%



■ 保護者アンケート（いじめ・体罰調査）

1. 今年度の4月から現在までに、学校において、いじめや体罰があると、お子様から聞いたことがありますか。

● ある	14%
● ない	86%



《考察》

・お子さまの思いをご家庭で受け止めていただいていることが分かり、ご家庭のご支援を大変有難く受け止めております。前記のとおり、本校ではいつでも保護者の皆様のご相談に対応してまいります。ご心配な点につきましては、これからも学校にご連絡ください。

・いただいた記述のお答えの内容からは、一概には言いきれませんが、年度初め～1学期の人間関係作りの期間中に起きているトラブルに、悩みを深めている生徒が多いのではないかとということが窺えます。また、部活中のトラブルの訴えが散見されます。

・SNS コミュニケーションでのトラブルについて言及があります。本校ではこれ以外にも、コメントの書き込みや、個人的な写真のアップロード等について SNS の利用について振り返りを必要とした事案があり、継続的な指導の必要性があると思われます。

学校自己評価アンケートの結果から、本年度末～来年度にかけての学校としての取り組み

- ①生徒および保護者の相談体制づくりをより確かなものにし、その周知を図っていきます。
- ②教職員の言葉や、ふるまい、ハラスメントに対する認識を、研修を通してより深めていきます。併せて、健全な人間関係づくりができる学びの環境を大切にしていこうという点において、生徒に対して、保護者や業者の方へ、また教職員同士でもお互いに明るい挨拶を心がけていきます。
- ③学校生活全体をとおして、人権侵害に関わる嫌がらせがないかどうか、学級担任・学年職員・教科担任・正副部活動顧問等、あらゆる立場から生徒の言動を見つめていきます。
- ④「全員が力を発揮し、認め合う学級づくり」「安心して参加できる授業の工夫」といった、集団の中で安心して学ぶための土台作りに継続して取り組んでいきます。

お忙しい中にもかかわらず、アンケートへのご理解ご協力、本当に有難うございました。子どもたちの学び舎は、その地域の中にあっただけこそ、日々よりよい変化・成長を遂げていくことができます。今後ともご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

文責：目黒 哲朗